

(別 紙)

新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業
「被害リスクに応じたウリ科野菜ホモプシス根腐病の総合防除技術の確立」
成果発表会

開 催 要 領

1. 趣 旨：

近年、東北地域のウリ科野菜産地ではホモプシス根腐病による被害が拡大しています。本病の拡大要因として、被害が顕在化していない潜在的な病原菌汚染圃場の存在が考えられます。

そこで、これらに対する予防的な防除を可能にするため、圃場汚染の診断手法と、予防的に取り組みやすい被害緩和手法を組み合わせた総合防除技術体系の開発を本プロジェクトにおいて実施してきました。この研究成果を広く公表することにより、本病への予防的対策の啓発と技術普及を図ります。

2. 主 催： 農研機構東北農業研究センター

3. 日 時：平成24年12月19日（水）13:00～16:45

4. 場 所：盛岡市民文化ホール（マリオス）1階 小ホール
（〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通二丁目9-1）電話019-621-5100

5. プログラム：

(1) 開会・挨拶

(2) 話題提供

1) 東北地域におけるホモプシス根腐病の発生実態と本プロジェクトの取り組み内容

農研機構東北農業研究センター 永坂 厚

2) 遺伝子診断による未発生地域・圃場のモニタリング技術並びに被害リスク推定技術の構築

秋田県立大学生物資源科学部 古屋廣光

3) 生物検定による被害リスク推定技術の構築

福島県農業総合センター 穴戸邦明

4) 整枝管理による萎凋症状の緩和手法の開発

岩手県農業研究センター 山口貴之

5) 土壌pH改良資材による被害緩和技術の開発

岩手県農業研究センター 岩館康哉

6) キュウリ台木の耐病性の比較とその活用

福島県農業総合センター 原 有

7) 土壌還元消毒を中心とした施設栽培での対策手法の確立

宮城県農業・園芸総合研究所 近藤 誠

(3) 総合討議 座長 農研機構東北農業研究センター 永坂 厚

(4) 閉会

6. 対 象：普及関係者、行政関係者、企業関係者、研究者、生産者等
(どなたでもご参加いただけます)

7. 参加費：無料

8. 参加申込み：

- ・ 申込締切：平成24年12月14日（金曜日）
- ・ 定員350名（先着申込み順）。
- ・ 参加申込は、別添の参加申込書をFAX若しくはe-mailで事務局あてにお送り下さい。

9. お問い合わせ先（開催事務局）：

農研機構 東北農業研究センター 環境保全型農業研究領域 主任研究員 永坂 厚
〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南50 Tel:024-593-6175/ FAX:024-593-2155
e-mail : phomo1219@ml.affrc.go.jp